



テーマ「だれもが自分らしく“生き”“活き”と暮らせる地域づくり」
～いま わたしたちがやるべきこと～

第1分科会（育み 学ぶ）

杉本 温子

- 障がいの子どもの生活のあり方を考えてみませんか？
- 卒業後の支援から在学期間のあり方を考えてみませんか？

子どもとの生活を楽しむために

- * 「巻き戻し」手法・・・・・・・・自信を持って楽しく出来ることを増やす！
- * 選ぶことの楽しさ・・・・・・・・自分で決定する心地よさをたっぷり経験！
- * 伝えることの楽しさ・・・・・・・・伝えたらよい結果になった！
- * 一人遊びの楽しさ・・・・・・・・可哀想かな？ 一人遊びは大事な力！
- * オノマトペで生活の楽しさを広げる・・・・・・・・出来ること・自信を増やそう！
- * 教科学習を家庭生活で生かせるものに変身・・・・・・・・楽しく生きる力に！
- * 便利な道具は子どもの発達をみながら取り入れる・・・・・・・・気持ちよくできるために！

卒業後、進学後も楽しく過ごすために

卒業後・思春期を見据えた取り組みや対応

- * 小集団で自信をつける
- * スキンシップのとりかたを進化させていく
- * 着替えのしかた
- * 名前の呼び方アラカルト
- * 一人で遊べるということ（余暇の過ごし方）

「どの学校を選ぶか」も重要だけど、「その学校でどう過ごすか」もとても重要！

支援学校に行くと地域から離れる・・・そんなことはない
学校見学 できるなら何度も、時間帯・場面を変えて見学

学校との関係を楽しいものにするために

- * 教育のプロと親としてのプロが合体すれば子どもには最高な支援となる（はず・・・）
- * 保護者は学校や先生を育てることができる！

